

渡良瀬川だより

No. 211

令和5年4月3日発行

国土交通省 関東地方整備局

渡良瀬川河川事務所 地域広報官

河川工事 堤防強化・樹木伐採の紹介

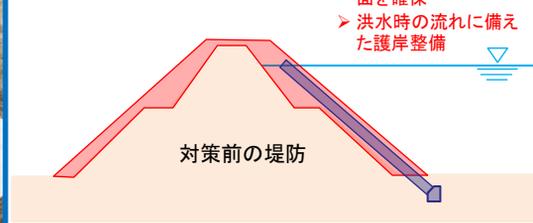
○堤防強化について



気候変動に伴い災害が激甚化・頻発化するなか「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により堤防整備等の事前防災対策を進めています。

堤防の拡幅・嵩上げ・護岸工事

- より大きな洪水を安全に流すために堤防断面を確保
- 洪水時の流れに備えた護岸整備



◀佐野市高橋町での堤防整備（高水護岸）施工状況

（担当 工務課）

○樹木伐採について

渡良瀬川や桐生川の洪水時における流水を安全に流下させるため、河川内で著しく樹木が繁茂している箇所について、伐採を行いました。



効果

- ①洪水の時、水が流れやすくなる
- ②イノシシ対策になる



伐採した樹木（主にハリエンジュ。数量1万本）については、桐生大橋下流河川敷にて1月23日に無料配付を行いました。

たくさんの方にご協力頂き、ありがとうございました。

中橋パネル展を開催しました

足利市の中心部で渡良瀬川を渡る中橋は昭和11年に架設された橋梁ですが、上下流の堤防について嵩上げなどが行われたものの、中橋は架設当時の状態のままであるため、堤防が切り欠いた状態となっており、渡良瀬川の治水上の課題となっています。また、朝夕を中心にJR両毛線の踏切前後で交通渋滞が発生し、歩道が狭く十分な自転車通行空間が確保されていないなど、道路橋としての課題もあります。

これらを踏まえ、地域の安全・安心な生活を確保するため、国、栃木県、足利市の共同で、堤防と橋梁の高さ不足解消とまちづくりが一体となった「中橋の架替事業」を進めています。

事業について、地域住民の方々により一層のご理解をいただくことを目的として、ショッピングセンターでパネル展示を実施しました。

1. 展示期間：令和5年2月8日(水)～2月14日(火)
2. 展示場所：栃木県足利市朝倉町
コムファースト・ショッピングセンター
(アピタ足利店) 1階コム広場
3. 主催：国土交通省渡良瀬川河川事務所、
栃木県安足土木事務所、足利市

期間中、1,300名以上の方に来場いただき、堤防の早期完成のご要望や工事の内容、道路計画などについて、多くのご意見・ご質問を頂きました。

引き続き、事業の早期完成を目指して、国・県・市が一体となって事業を進めてまいります。



パネル展示の様子
(担当 調査課)

「第29回渡良瀬川クリーン運動」が開催されます

第29回 渡良瀬川 クリーン運動

令和5年5月28日(日) 【午前8:00～9:00】

参加要員
 渡良瀬川・根生川・旗川・矢野川・後山川・多々良川etc
 渡良瀬川クリーン運動協議会
 ●みどり市・栃木市・太田市
 ●足利市・佐野市・鹿沼市
 ●奥多摩・栃木市
 ●栃木土木事務所・太田土木事務所
 ●鹿沼土木事務所・安足土木事務所
 ●栃木土木事務所
 ●栃木県環境総合
 ●東京環境協会の総合
 ●白河環境協会の総合
 ●国土交通省 渡良瀬川河川事務所

渡良瀬川クリーン運動から
 ボランティアや地元などの清掃活動により、良好な自然環境に戻りつつある。渡良瀬川とこの実川ですが、未だゴミのポイ捨ては後を絶ちません。このような現状を往時の管轄に比べて、このようにきれいで安全な水辺を復活させるために、平成7年から毎年1回、この清掃活動を開催しています。

多くの皆さまの参加を、お願いいたします。

※新型コロナウイルス感染症発生状況によって、中止する場合があります。

4年ぶりの開催

毎年5月に、沿川の自治体等にお住いの皆様に多数ご参加いただき開催しております「渡良瀬川クリーン運動」について、本年度は5月28日(日)午前8時から9時※に開催する予定です。皆様の参加をお待ちしております。

※自治体によって、実施日が異なる場合があります。



写真は令和元年度実施の様子



第27回「春の植樹デー」が開催されます



NPO法人「足尾に緑を育てる会」が毎年開催しています。「春の植樹デー」は、今年も昨年と同様に開会式及び出店やミニコンサート等を行わず、植樹作業のみの開催になります。また新型コロナウイルス対策として、一日300人限定とし、4回に分け開催を行います。各回ごとに、植樹場所が異なりますので、体力にあわせて、植樹地を選定してください。なお、一日の参加人数を調整するため、団体、個人ともに必ず予約をお願いいたします。

ご予約・詳細については、足尾に緑を育てる会のホームページをご覧ください。

2023年度 日程

各日定員300人 ※雨天決行

- 第1部 4月22日(土) Aゾーン
- 第2部 4月23日(日) Bゾーン
- 第3部 5月27日(土) Bゾーン
- 第4部 5月28日(日) Aゾーン



Aゾーン

足尾砂防ダム周辺の戸四郎沢植樹地。植樹地は高所です。約600~800段の工事用階段を登った辺りに植樹します。



Bゾーン

ゲート先駐車場からほど近い久蔵口植樹地。道沿いの植樹地で、斜面の下部に植樹します。小学校を中心とした体験植樹が行われている場所です。

(担当 足尾砂防出張所)

【予約・問合せ先】

NPO法人 足尾に緑を育てる会
(TEL) 0288-93-2180
(WEB) <https://www.ashiomidori.com/>



6月は「土砂災害防止月間」です

国土交通省では土砂災害による人命・財産を守ることを目的に、大雨となり土砂災害の危険度が高くなる6月を「土砂災害防止月間」と定めています。

最近では気候変動に伴う集中豪雨の増加により、日本各地で激甚な土砂災害が頻発していることから、日頃より気象情報等に注意し、地域のハザードマップで安全な避難経路・避難場所、周辺の危険箇所等を確認するなど、土砂災害に備えましょう。



(担当 砂防調査課)



土砂災害

身をまもる3つのポイント



台風や大雨に備えて

雨が降り始めたら

豪雨になる前に

①お住まいの場所や勤務先などが土砂災害警戒区域か、ハザードマップで確認する。

②土砂災害警戒情報や雨量の情報に注意する。

③大雨時や土砂災害警戒情報が発表された時、夜間の大雨が予想される時は早めに避難する。

サケの稚魚を放流しました

令和5年3月12日（日）足利市岩井町の渡良瀬川河川敷において、サケの稚魚一斉放流会を開催しました。

今年度は、サケの受精卵の配布ができず、ご家庭で稚魚を育てて頂くことはできませんでしたが、渡良瀬漁業協同組合様と栃木県鮭鱒協会様のご協力を得て、参加された皆さんの手で渡良瀬川にサケの稚魚を放流することができました。

今回放流したサケは、5月頃には海に向かって川を下り始め、数年かけて渡良瀬川に戻ってきます。この体験を通じて、生き物や河川環境の大切さについて考えるきっかけとなれば幸いです。

令和4年度放流会の様子



◀放流するサケの稚魚を撮影中

渡良瀬川的环境について学べる展示パネル（せせらにて期間限定で展示中）



◀親子で放流している様子

放流会に参加していただいた皆様▶



（担当 総務課）

ラジオ放送にて防災対策の発信をしました



中継の様子

リポーター：吉本興業 ベリーズさん（栃木県住みます芸人）

◀令和5年2月10日 RADIO BERRY（エフエム栃木）にて、わたらせ川のふれあい館「せせら」から生中継により、渡良瀬川の洪水対策に関する情報を発信しました。

放送では、渡良瀬川河川事務所長が堤防の整備や川の掘削、樹木伐採といった渡良瀬川で行っている洪水対策の河川工事、気候変動による降雨量の増大に対応した様々な対策を河川管理者・自治体・企業・住民の方々などあらゆる関係者で協働して行う「流域治水」を進めていく必要があることを発信しました。

（担当 総務課）

渡良瀬川河川事務所公式Twitterで情報発信中！

・防災・行政・広報… など様々な情報をお届けしています！



@mlit_watarase



国土交通省関東地方整備局
渡良瀬川河川事務所

〒326-0822
栃木県足利市田中町661-3

<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>
TEL：0284（73）5551
FAX：0284（73）8504



足尾砂防堰堤

紙面についてのご意見やご感想をお待ちしています。パソコンからは渡良瀬川河川事務所ホームページの「お問い合わせ」からご投稿いただけます。電話・FAXは左記番号へ、郵便の場合は左記住所「渡良瀬川河川事務所地域広報官」宛でお願いします。

川の防災情報

リアルタイムの雨量と水位を知りたい時は
<https://www.river.go.jp>

